

ほっと  
w a k o u k a i  
NEWS

vol. 48  
2018  
May



この春、和恒会に  
新しい仲間が増えました



### ふたば病院の理念

ふたば病院は、「和」のこころを「恒」に以って、みなさまに安心して信頼される病院を築いてまいります

### ふたば病院の基本方針

- 私たちは、人権の尊重と倫理の遵守に基づいた医療を提供いたします
- 私たちは、相手（接する人）の気持ちを思いやり、尊重するように努めます
- 私たちは、日々研鑽し、医療サービスの向上に努めます
- 私たちは、医療に携わる人材の育成に努めます
- 私たちは、地域精神医療の中核的役割を果たし、地域に貢献できるよう努めます

### 患者様の権利

- 良質の医療を平等に受ける権利があります
- 診療に関する各種情報の提供を受ける権利があります
- 個人としての人格・価値観を尊重される権利があります
- 十分な情報提供と説明のもとで、どのような医療を受けるか選択する権利があります
- 診療に関する情報やプライバシーは厳正に保護される権利があります

### 外来担当医表

	月		火		水		木		金		土	
	午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前	午後
精神科（再診）	渡邊	渡邊	今中	今中	高見 福本	福本	小鶴	小鶴	高見	今中	新宮	新宮
精神科（初診）※1	今中		新宮		渡邊		福本 高見		小鶴			
物忘れ外来				※2				※2				
内科									(山下)	(野間)		

日曜・祝日は休診 ※1 初診は原則、午後の予約のみです。 ※2 認知症専門外来（予約制）



### 医療法人社団 和恒会

〒737-0143 広島県呉市広白石4丁目7番22号  
**TEL 0823-70-0555**  
**FAX 0823-70-0557**  
<http://wakokai.jp/>

和恒会  検索



ふたば病院  
 介護老人保健施設 パナケイア  
 広島県認知症疾患医療センター  
 居宅介護支援事業所 ふたば  
 訪問介護事業所ふたば  
 認知対応型共同生活介護 ふたばの家  
 共同生活援助 ふたばの丘

地域活動支援センター ふたば  
 短期入所生活介護事業所 ふたばの里  
 高齢者複合福祉施設 ふたばの街  
 特定施設入居者生活介護、ふたばハイツⅡ  
 呉市川尻・安浦地域包括支援センター  
 共同生活援助さくらんぼ



たけな てる み  
武名照美



## 和恒会の仲間たち

三月一日より介護老人保健施設パナケイアに就職しました総師長の武名照美です。  
看護師としての経験は長いのですが、介護施設で勤務するのは初めてです。  
急性期病院から精神科病院、ハンセン療養所と経験して参りました。  
パナケイアは少子高齢化に直面する中、在宅復帰のりハビリ施設として、又看取りの場所として大きな役割を求められています。  
呉市広、川尻、安浦の地域性や文化・生活を把握した上で選ばれ、出会って良かったと言って頂ける施設になって行きたいです。  
スタッフの教育にも力を入れ、足腰を鍛え時代ニーズに対応して参ります。「自分の家族をパナケイアで看たい」をスタッフの言葉になる様愛情を持って互いに高め合いたいと思っています。  
入居者様、利用者様、ご家族様を中心に、石井施設長の舵取りのもとチーム一丸となって個々の持ち場でしっかり役割を果たして行きます。  
今後のパナケイアに注目して下さい、そして皆様のお力もお借し頂けるとありがたいです。  
宜しくお願いいたします。

## New Staff Introduction



この春、和恒会に新しい仲間が増えました

# 新人職員紹介



放射線検査室

久川博也

色々迷惑をおかけしますが精一杯がんばるのでよろしくお願い致します。



地域連携室

宮脇美沙季

患者様のお力になれるように一生懸命頑張ります。よろしくお願い致します。



3病棟

古谷優美

4月より3病棟に配属になりました。ご迷惑をおかけすると思いますが、よろしくお願い致します。



3病棟

長井 謙

患者様が安全・安楽に療養生活が送れるように、頑張っていきたいと思っています。



6病棟

河内知子

医療関係の仕事は初めてで慣れるまで時間がかかると思いますが、一日でも早く慣れるよう頑張りますので宜しくお願いします。



外来

長畑敬恵

電子カルテどころかパソコンに悪戦苦闘しています。少しでも早く慣れるよう頑張りたいと思います。よろしくお願い致します。



総務課

小原亜矢子

ご迷惑をおかけするかもしれませんが、頑張りますのでこれからよろしくお願い致します。



ふたばの街

小松奈美

施設での勤務は初めてですが、少しでも早く慣れ、入居者様をサポートできるよう頑張ります。



ふたばの街

岡本千恵美

4月より、ふたばの街に勤務させて頂いています岡本です。ふたば病院の理念に基づいて、ほっとする温かい看護を目指し、ふたば色に染まっていけたらと思います。宜しくお願いします。



春野菜のナムル

2人分

### 〈材料〉

- 春キャベツ 100g
- アスパラ 2本
- アボカド 1/2個
- ゆで卵 1/2個
- ごま油 小さじ 1/2
- 塩 少々
- 白ごま 適宜

### 〈作り方〉

- ① アスパラ、キャベツは一口大に切り塩ゆでする。
- ② アボカドとゆで卵は1.5cmの角切りにする。
- ③ ①と②をごま油、塩で和え白ごまをふる。

## もぐもぐ 栄養士の通信

### ～旬の野菜を食べましょう～

スーパーに足を運ぶと菜の花や旬、春キャベツ、新玉ねぎなどが並び春の訪れを感じます。  
春に旬を迎える野菜には独特の苦みがあることは知られていますがそのものになっっているのは「植物性アルカロイド」という成分で身体に有害な活性酸素を除去する働きがあります。  
調理する際には苦みや香りを失わないよう新鮮なうちに調理するとあまり味付けをしなくてもおいしく頂けて減塩の効果も！  
春野菜と女性に人気のアボカドを使ったレシピをご紹介しますので是非お試しください。



Vegetable



ふたば Heights II

中本奈歩

このたび、ふたば Heights II に勤務させていただくことになりました。早く仕事を覚え、戦力になれる様頑張っていこうと思います。



バナケイア

津吉春果

バナケイア所属、作業療法士の津吉春果です。愛媛から来ました。よろしくお願致します。



バナケイア

中川まどか

デイケア所属、理学療法士の中川まどかです。小学4年生と年中の娘がいます。ハツラツと笑顔で頑張ります。



5 病棟

中山千春

3月から勤務する事になりました。若輩者ですがよろしくお願致します。



バナケイア

松井友里

事務所所属、精神保健福祉士の松井友里です。明るく笑顔で頑張ります。よろしくお願致します。



バナケイア

鈴木沙奈

鈴木沙奈と申します。徳島県出身の21歳です。自分らしく笑顔で頑張ります。



バナケイア

洲崎航太

バナケイア3階所属の洲崎と申します。仕事ができる様に努力しますのでよろしくお願致します。



中央病棟

鈴木大雅



中央病棟

實谷ゆかり



中央病棟

濱口拓也



中央病棟

池田梨果

ご迷惑かけることもあるかと思いますが、よろしくお願致します。



### 道後、尾道、松江、京都の職員旅行



2月25日から3月の20日にかけて職員旅行が実施されました。道後、尾道、松江、京都の4箇所を日帰りやコースによって一泊で巡りました。普段あまり接する機会のない法人内の他の施設の方とも一緒に来親睦を深めることもできたのではないかと思います。仕事を離れて楽しむことで、日ごろの疲れやストレスの解消ができました。皆さん素晴らしい笑顔で、「はい、チ〜ズ」です。



### 今中先生が3冊目の著書を出版



当法人勤務の今中先生が3冊目の著書を出版されました。今回は今中先生が今まで経験されたいろいろな「旅」をテーマにしたエッセイです。大学生の時の海外旅行から仕事でおとづれた温泉までいろいろな旅のエピソード満載です。発行を記念して、院内で握手＆サイン会も実施されました。師長さん、本当にうれしそうな満面の笑みです。

## 和恒会 TOPIC 和恒会の旬な情報をお届けします。



### 和恒会法人ウェブサイトがリニューアル



2018年4月より法人ウェブサイトがリニューアルしました。新しいホームページはスマホにも対応し、より分かりやすく、見やすくをモットーに全面改訂を行いました。いまままで掲示していた情報が追加工、より皆様に親しみやすくなったのではないかと思います。各種情報については、できる限りリアルタイムで更新していく予定です。新しいウェブサイトとともに医療法人和恒会を今後ともよろしくお願致します。



### 呉市認知症対応力向上研修会を開催

平成30年3月11日、呉市ホールにて呉市・呉認知症疾患医療センター主催による「呉市認知症対応力向上研修会」を開催し、民生委員の方や医療介護従事者の方を中心に三百三十六名の方にご来場いただきました。「住み慣れた呉市で暮らしていくために」をテーマに、呉市の認知症施策・多職種が関わった事例紹介などの発表を行い、また、警察・消防・医療介護に携わる計団体によるシンポジウムでは各団体の取り組みについて発表後討論を行いました。今回の研修がご来場いただいた方の認知症の理解に役立ち、認知症の人を地域で支える事の今後の参考にしたいだけだと思います。





H29  
第4回

「生活をサポートする制度のお話」

ふたば病院を受診しながら利用できる制度を中心に、中野保健福祉社からお話いただきました。よく知っている制度から馴染みのうすい制度もありましたが、皆さんは特に成年後見人制度に興味を持たれていました。参考資料として、実際の資料等もあり、記入量の多さに家族だけでなくスタッフも驚きました。



その後の座談会では、色々な制度があることを知ることができてよかったです。また、サービスを使いながらそれを支えている様子も話されていました。今後も認知症のことについて知りたいことや家族自

H29  
第3回

「認知症を持つ人とその家族のこころ」

認知症の人を支える家族の方々が関わる時に心がけることや支援する人自身のこころやそのケアについて望月臨床心理士に話していただきました。また、認知症のある人の感覚の変化についても話していただきました。出来ていたことが出来なくなる不安、に話していただき、認知症のある人が、今何に困っているのかに気を配りながら支援していきたいと思

家族自身も余裕がなく、「しんどい対応をしていた」と思い出される方もいて、共感される声もきかれました。一方で経過をたどっていく中で家族が少し余裕をもつて認知症の人にかかわることが出来るようになってきたと話され、同じような変化を感じている方もいらつしました。この場では認知症の人の支援について考えるだけでなく、家族自身のこころの変化についても話し合われており、共通することがあるだけで話しやすそうな印象がありました。同じ状況や思いを話すことで自分たちだけではないうつや不安が会の中



身が思いを安心して話していただけ場所を目指していきたく思います。

H29  
第6回

「高齢者の食事について～ユニバーサルデザインフードって何?～」

高齢者の食事について、中管理栄養士より試食を取り入れながらお話をいただきました。歳を重ねると食べる力が弱くなると、周りの人の協力が必要になってきます。高齢者の家族や周りの人が知っておいてほしい知識について分かりやすく説明していただきました。そして近年注目されている「ユニバーサルデザインフード」について教えていただきました。かむ力「飲み込む力」「かたさ」によってそれぞれ区分されているようです。実際に区分によって食べ比べを行い、思ったよりきちんと味付けされており、印象とま

た違った感じでご家族も興味深そうに試食されていました。座談会では車の運転について心配を話される方もいらつしました。近所の人の意見や様子を見ながら家族自身も対応を考えていらつしやるようです。他にも家での食事の工夫についての話題や、施設からの退所後の自宅での生活について、不安を吐露されるなど、それぞれの家での生活について心配の声もあがっていました。



ような空間を、ご家族と一緒につくっていくような、スタッフ一同お待ちしています。

H29  
第5回

「認知症に対する運動療法～作業療法士の視点から～」

認知症に対する支援を運動という視点から大井作業療法士より実践を交えてお話をいただきました。私たちが日々何気なく行っている日常生活動作(例えば食事)でも、実は様々な運動のまとまりであるということや、重度認知症ケアでの運動療法の様子について紹介していただきました。重度デイケアの利用者様が作った張り子のだるまも仲間入り(?)し、イスに座ってする健康体操や棒体操をみんなで、ご家族も「大変だー」と言いながらお互いに日ごろの運動不足を痛感しながら体を動かしました。体操で使った棒や、家で活用しやすい

ように加工された体操マニアルなどお土産もありました。体操の余韻にひたりつつ始まった座談会では、家族自身の健康のために運動を続けていきたいと話される方もおり、認知症をもつご本人だけでなく家族自身の健康にも注目が集まっているようでした。他にも、認知症をもつ人の周囲の環境を変えたら落ち着いたという話の一方で、状態の変化が心配だという声もきかれました。様々な工夫をされているようで、その中で苦勞や手ごたえを感じているようです。

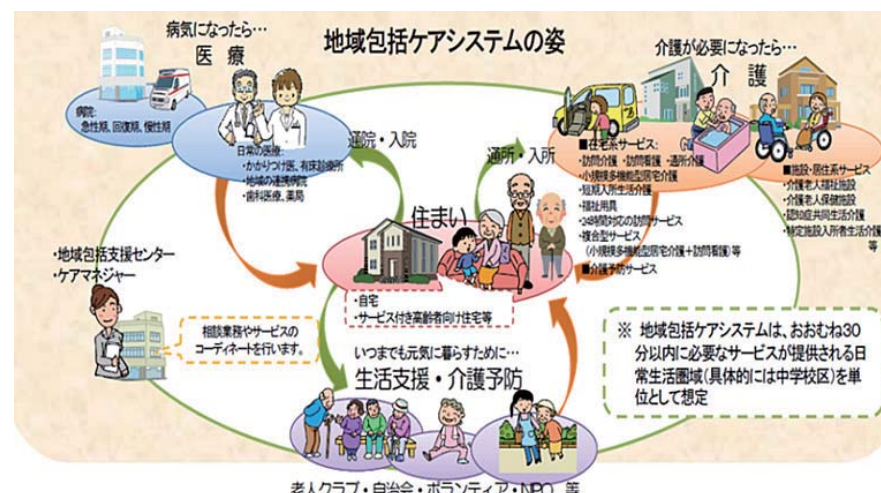


「試食」実際に食べてみましょう!

お薬 知っ得 情報

「施設利用時にもお薬手帳を持って行こう!」

皆さんはお薬手帳をどのように活用されていますか?今回は、病院受診される際や薬局へ行く時だけでなく、施設を利用される時にもお薬手帳を持って行こう!というテーマでお話します。



厚生労働省は、2025年(平成37年)を目途に、高齢者の尊厳の保持と自立生活の支援の目的のもとで、可能な限り住み慣れた地域で、自分らしい暮らしを人生の最後まで続けることができるよう、地域の包括的な支援・サービス提供体制(地域包括ケアシステム)の構築を推進しています。例えば、在宅サービスに分類されるショートステイでは、数日間を施設で過ごされ自宅に戻ります。最期まで自宅を過ごしたいニーズを支えています。

①地域包括ケアシステムとは

②なぜ施設利用時にお薬手帳持参が必要か?

自宅で生活する高齢者の多くは、たくさんの種類のお薬を服用されています。複数の薬局からお薬を貰われている方は、薬局では薬の情報が確認しにくくなっており、同じ作用のお薬を重複して飲んでいたり、飲み合わせが悪い薬を同時に飲んでいたりすることもあります。ショートステイのように数日間生活する施設では、持参薬として服用中のすべてのお薬を持ち込まれるので、施設スタッフや薬剤師が介入することで改めて1か所で薬を見直すことができます。また、施設利用中に体調が変化された場合、現在服用中のお薬の内容を正しく医師に伝える必要があります。お薬手帳があれば、より正確に情報伝達できることに繋がります。

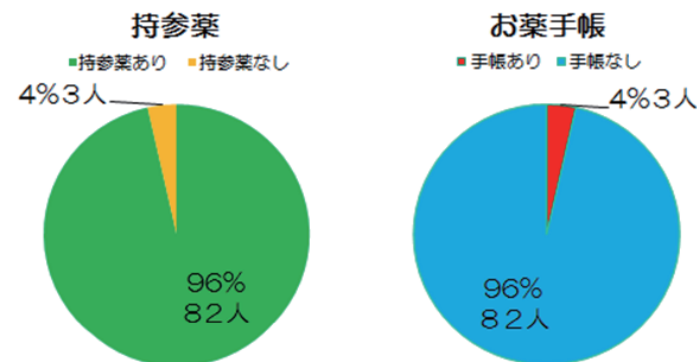
③施設利用時のお薬手帳持参率について

当院併設のショートステイ(短期入所生活介護事業所…ふたばの里)の利用者に対して、お薬・お薬手帳の持参率についてアンケート調査を行いました。結果は、入所者のうち96%の方が薬を持参されていますが、お薬手帳は4%しか持参されていませんでした。利用者82人のうちたった4人しかお薬手帳を持ってこられていないという驚きの結果となりました。

④施設へお薬手帳を持って行こう!

施設へ持ち込まれたお薬はほとんどの方が適切に服用されていますが、一部不適切な状況で服用されていることを発見することもあります。施設スタッフや併設病院の薬剤師が、利用者の生活や病状、服薬の状況を見て薬を見直すことができることは、施設利用のメリットではないでしょうか。皆様も施設利用される際には、是非お薬手帳を持参して下さい。

ショートステイ入所者のお薬・お薬手帳の持参率 (n=85)



調査期間:平成27年3月16日~4月15日の1ヶ月間

参考文献:地域包括ケアシステム厚生労働省HP、平成30年度診療報酬改定の基本方針、社会保障審議会医療保険部会、第54回中国四国支部学術大会、短期入所生活介護事業所における薬剤師のかかりポスター発表より